メッセージ -都市は書店と酒肆を糧に進化する

アーバニズム(都市文明)が社会生活と経済活動の面で最も重要な推進力の1つであることは紛れもない事実。知識創造社会の当時者がアイディアの交換を行う場所が都市だからだ。アーバニズムで最も重要な要素は近接性と高密性。
まさに今、われわれは近接性の価値を痛感している最中だろう。

リモートワークが感染症対策と経済活動の両方を解決してくれる、という考えは牧歌的に過ぎる。外出制限や自粛要請が続けば、(われわれ)中小企業や個人事業者からたちまち崩壊していく。自粛と補償、財政再建と財政出動、民主主義とデータ監理、在宅勤務可能な職種と不可能な職種....。検討すべきことは山積みだが、そのいずれも、優れた書店を有し、アイディアの新結合が起こりやすい近接・高密の都市で創発されるものと信じている。都市は書店と酒肆を糧に進化する。かつて、どん底のNYからヒップホップが生まれたように。

選書フェア発起人 MEZZANINE 編集長 吹田良平

MEZZAINE編集長吹田良平
×
紀伊國屋書店新宿本店

本屋で
都市を編む

35名のアーバンシンカーによる
70冊の選書フェア

17. 辻田昌弘
東京大学大学院経済学研究科特任教授

地域産業のイノベーションシステム
-集積と連携が生む都市の経済
山崎朗（編著）、辻田昌弘 他（共著）/学芸出版社
都市が「選ばれる」ための条件は人口の多さか
高層ビルの本数とかじゃない。
そこにクリエイティビティがあるかどうかだ！

マイパリッタクシドレベル
-今日からはじめるまちづくり/田中元子/晶文社
「一階づくりはまちづくり」…まちを居心地の良い場所にするために必要なことはすべてこの本に書いてある！

18. 東浦亮典
東急株式会社執行役員、渋谷開発事業部長

私鉄3.0/ワニブックスPLUS新書（ワニ・プラス）
100年近く東京西南部の宅地開発、都市開発を手掛けてきた東急の現役の執行役員が赤裸々に沿線でのまちづくりの歴史、戦略などを語った貴重な一冊。
アフターコロナの社会になっても活力を失わない
まちづくりの秘訣とは。
ザ・サークル（上・下）/デイヴ・エガーズ（著）
吉田恭子（訳）/ハヤカワ文庫（早川書房）
空虚な「スマート論」がこの10年跋扈している中でテクノロジーだけは日々進歩している。そうした先端技術を駆使した未来のまちづくりが私たちの生活を豊かにしてくれるのか、幸せにしてくれるのかを問うSFディストピア小説である。トム・ハンクスとエマ・ワトソン主演で映画化もされた注目作ですが、小説の方が数段内容が濃いです。悲観論に陥ることなく、各自が自分の未来をどうしたいのかを考えるのに適した一冊です。

20. 中川敬文
株式会社イツノマ 代表取締役

おもてなしデザイン・パターン
井庭崇、中川敬文/翔泳社
これからのイノベーション時代に効く「創造的おもてなし」を「パターン・ランゲージ」の手法で解説。

サードプレイス
レイ・オルデンバーグ/みすず書房
カフェ、図書館等、情報・意見交換の場、地域活動の拠点としても機能するサードプレイスの概念を社会学の知見から多角的に論じた書。

MOMENT　1、2/リバイバル
MOMENTは、あらゆる地域や分野を横断しながら、これからのイノベーション時代に効く「創造的おもてなし」を「パターン・ランゲージ」の手法で解説。
新しい都市のあり方を探索するさまざまなのための
トランスローカルマガジンです。

ベルリンうわの空
香山哲/イースト・プレス
たとえば舗道のつまづき石や柱に貼られたシール。都市の断片から社会のありようを描き出し、小さな変化の種をまく、そのテつきに学びたい。

ぼくらは地方で幸せを見つける/ポプラ社
地域に関わることで感じられる、これからの「豊かさ」について考えた一冊。「関係人口」と「関係案内所」の大切さを書きました。

もうひとつのデザイン
D&DEPARTMENTPROJECT
僕が死んだら棺桶に入れたい本。タイトルは胸芸家でギャラリーキ宰者の安藤雅信さんによるもの。

ふつう/深澤直人/D&DEPARTMENT PROJECT
ふつうじゃない都市や建築、まちづくり、暮らしの中で「ふつう」とは何かを考えるきっかけになる本。

金沢城のヒキガエル
奥野良太助/平凡社
金沢という都市の、ユーモラスで愛すべきヒキガエルの生き方から、社会のありようを学びました。

9. 近藤哲朗
株式会社そろそろ代表取締役、図解総研代表理事

ビジネスモデル2.0図鑑/KADOKAWA
社会を考えるL字に最も重要な点は、逸脱的な発想である。刻々と情勢が変わる時代に、本書でその発想の種を見つけて欲しい。

時間は存在しない
カルロ・ロヴェッリ/NHK出版
時間という切り口で、いま当たり前に思っていることがどれだけ当たり前ではないか感じさせる良書。
自分の頭にある常識を壊そう。

11. 指出一正
ソトコト編集長

MEZZANINE
TWO VIRGINS
最新号4号では、スマートな都市を謳歌する際のコモンセンスやコモンウェルスについて探求しました。
結論、「そろそろイノセントにつながるだけの行為は辞めにしませんか」

国盗り物語（一〜四）
司馬遼太郎/新潮社
特に斎藤道三編が良い。
己の才覚ひとつで成り上がっていく様がしびれる。

13. 吹田良平
MEZZANINE編集長

日本の工芸を元気にする！
東洋経済新報社
すべてはビジョンからはじまる。このビジョンが生まれなければ、今の中川政七商店はなかった。

牢獄は「住むところ」で決まる
エリコ・モレッテ/フィジテル社
毎回思うけど、これ絶対タイトルが良くない。購入を躊躇しているお客さん、自己啓発本ではありませんよ。

14. 諏訪光洋
株式会社ロフトワーク代表取締役社

クリエイティブ・コミュニティ・デザイン 関わり、つくり、巻き込もう/フィルムアート社
none

ゲーデル、エッシャー、バッハ―あるいは不思議の環
ダグラス・R.ホフスタッター/白揚社
エッシャーが提示する矛盾空間とパッハのカノンが螺旋階段の様に上昇する様、数学の美しさが絡む。
パラメトリック建築の美しさを数学的古典から
夢想できる1冊！

12. 白井暸
株式会社リ・パブリック デイレクター
雑誌「MOMENT」編集長

MOMENT　1、2/リバイバル
MOMENTは、あらゆる地域や分野を横断しながら、新しい都市のあり方を探索するさまざまなのための
トランスローカルマガジンです。

10. 佐々木誠
三井不動産株式会社 SXE綜合研究所 主任研究員

パブリックコミュニティ
三井不動産SXE 総合研究所/宣伝会議
アフターコロナの社会になっても活力を失わない
まちづくりの秘訣とは、8つのレシピによるコミュニティの醸成が効果的。

シビックプライド
読売広告社都市生活研究所/宣伝会議
欧州の都市開発では、市民がその都市に暮らすことを誇りに思える“プライド”を醸成・撫る手法が取られており日本の参考になる。

15. 高須正和
スイッチサイエンス
Global Business Development/
ニコ技深圳コミュニティ Co-Founder

プロトタイプシティ/KADOKAWA
Well-Organizedなスマートシティでなく、Un-Organizedなプロトタイプシティが未来への鍵です。
ハードウェアハック
アンドリュー・バニー・ファン、山形浩生他
技術評論社
MITで「深圳の男」と呼ばれるバニーが、
都市とイノベーションについて、具体的にプロッタを
積み上げるように体験を語る。

16. 武邑光裕
メディア美学者

ベルリン・都市・未来/太田出版
壁崩壊から30年。クラブカルチャーからスタートアップに至るベルリンの内実を看破したベルリン都市論。

機械化の文化史―ものいわぬものの歴史
ジークフリード・ギーディオン(著)、榮久庵祥二(訳)
鹿島出版会
本書の原題は「機械化が指揮を執る」。都市と機械、人間の運動機能や生産活動の拡張である「機械化」の歴史を探求した古典的名著である。

22. 中島隆博
東京大学東洋文化研究所教授

ことばを紡ぐための哲学
白水社
none

人口減少社会のデザイン
広井良典/東洋経済新報社
none

24. 南後由和
明治大学情報コミュニケーション学部准教授

ひとり空間の都市論
ちくま新書（筑摩書房）
コロナ禍でますます増殖することになった、〈ひとり空間〉について考えるためのヒントが詰まっています。

かくれた次元
エドワード・ホール（著）、日高敏隆/佐藤信行（訳）
みすず書房
国・文化によって異なる、人間同士の距離の取り方や空間の知覚の仕方を解明する古典的名著。
社会距離についても論じています。

23. ナカムラケンタ
「日本仕事百貨」運営、株式会社シゴトヒト代表

生きるように働く/ミシマ社
働いているときも、休んでいるときも、
自分の時間を過ごしたい。

食卓の経営塾
横川正紀/ハーバーコリアズ・ジャパン
1つのお店で街は変わる。人生も変わる。

25. 林厚見
株式会社スピーク共同代表、東京R不動産 ディレクター

東京R不動産2/アスペクト
不動産業界のことにも無知だった僕ら。
楽しき挑戦の日々の記録。あの頃から15年経つけれど
いつまでもやんちゃに街を掘り起こしたい。

ボローニャ紀行
井上ひさし/文藝春秋
創造都市論でもよく出てくるボローニャ。
本書での協同組合論、街場のガバナンスの話は、
これからの日本にとって重要なヒントがある。

26. 広井良典
京都大学こころの未来研究センター教授

人口減少社会のデザイン
東洋経済新報社
「拡大・成長」の時代の後に来る、成熟社会あるい
はＳＤＧｓ（持続可能な発展目標）時代の都市や
社会のありようを考えた本。

都市計画の世界史
日端康雄/講談社現代新書（講談社）
おもしろい都市論の本は多く大変迷ったが、
いま、人類の歴史の中で「都市」の意味を
考える時期ではないかと思いこの1冊。

27. 保坂展人
世田谷区長、ジャーナリスト

〈暮らしやすさ〉の都市戦略
——ポートランドと世田谷をつなぐ
岩波書店
none

オープンダイアローグとは何か
斎藤環/医学書院
none

28. 三浦詩乃
東京大学大学院新領域創成科学研究科特任助教

ストリートファイト
ジャネット・サディク＝カーン,セス・ソロモノウ
石田祐也,関谷進吾,三浦詩乃(訳者)、中島直人(監訳)
学芸出版社
誰もが毎日つかう公共空間、「ストリート」は
地域社会を映す鏡— 私たち１人1人の足もとから
暮らしを変革できると、確信させられる一冊。
都市を見つめるまなざしも、読後に変わること
間違いなし。様々な分野の方に手にとってほしい。

社会的共通資本
岩波新書/宇沢弘文
世界各地の都市再生を紐解くと、本書をはじめとし
て宇沢先生が生涯をかけて提示してきた、社会的費
用への責任や社会的共通資本の概念が、根底に流れ
ている。このコロナ禍のもと、何をまもり、何を
変えていくべきか？今こそ読みかえしたい名著。

29. 矢野和男
株式会社日立製作所フェロー

データの見えざる手/草思社
大量のフィジカルなデータを使って、人間、組織、
社会の行動を明らかにした最初の本。2014年の
ビジネス書トップ10(BookVInegar)に選ばれる。

ソーシャル物理学
アレックス・ペントランド/草思社
大量のデータを使い、社会がつながり合って
マクロな知能を生み出すデータ駆動都市や
データ駆動社会をこの分野の第一人者が論じる。

30. 山崎満広
LOCAL DIVER Co-Founder

ポートランド　世界で一番住みたい街をつくる
学芸出版社
全米一住みたい街ポートランド。
コンパクトでクリエイティブ、才能が集まる街の
つくり方の全貌を開発局に勤める日本人が解説。

クリエイティブ・ラーニング:創造社会の学びと教育
井庭崇 (著, 編集)、鈴木寛,岩瀬直樹
今井むつみ,市川力(著)/慶應義塾大学出版会
創ることで学ぶ、クリエイティブ・ラーニング。
特にパターンランゲージという共通言語を何かを
創るときに活かす方法は面白い

31. 山下正太郎
コクヨ株式会社WORKSIGHT編集長
ワークスタイル研究所所長

WORKSIGH - 働くしくみと空間をつくるマガジン-
アーク出版
世界中のユニークな働き方を実践する企業を
とりあげたマガジン。日本人の凝り固まった
働き方の概念を拡張しよう。

ブルシット・ジョブ
——クソどうでもいい仕事の理論
デヴィッド・グレーバー/岩波書店
都市の大半を占めるオフィスでの仕事がなぜつまら
ないのか？この本は、意味のない仕事から現代人を
救う解放の書である。

32. 山田雄介
WORK MILL編集長、株式会社オカムラ

WORK MILL with ForbesJAPAN ISSUE05
ALTERNATIVE WAY　アジアの新・仕事道
プレジデント社
20世紀の資本主義経営が限界を迎えつつある中、本誌
では、東アジアを取材し、オルタナティブな働き方や
経営哲学を新たな“仕事道”として紹介しています。

S,M,L,XL+: 現代都市をめぐるエッセイ
Rem Koolhaas、BruceMau
ちくま学芸文庫(筑摩書房)
建築家である前に脚本家でありジャーナリストだった
著者コールハースの名著。「建築についての小説だ」
と宣言した通り、フィクションとノンフィクション
（現実と夢想）が行き交う衝撃の一冊。

33. 山村崇
早稲田大学高等研究所講師

無形学へ 一かたちになる前の思考
まちづくりを俯瞰する5つの視座
後藤春彦 (編著）/水曜社
「つくらない」時代の新たな都市の設計
ビジョンにむけて、「形なきもの」のしくみを
再デザインするための視座を提示する一冊。

〈まちなか〉から始まる地方創生
——クリエイティブ・タウンの理論と実践
福川裕一 (著)、城所哲夫(著)/ 岩波書店
魅力的なまちなかを創り出し、地方都市を再生
させる「クリエイティブ・タウン」の理論と実例
をバランス良く紹介。地方創生に関わる人は必読。

34. 山本純子
株式会社アーツ・マーケティング代表

ぼくらがクラウドファンディングを使う理由
山本純子,佐々木周作(編著)、佐藤大吾（監修）
学芸出版社
今や誰もが知ってる「クラファン」だが、
初期の挑戦者たちの言葉にはノウハウ以上のものが
隠されている。挑戦が必要な時代に再読したい。

千の顔を持つ英雄(上・下)
ジョーゼフ・キャンベル
ハヤカワノンフィクション文庫(早川書房)
昨日までの当然が今日は通用しないことを痛感する
今年。だからこそ、太古から変わらず人の心を
動かす「物語」の力を改めて考えたいと思う。

35. 吉見俊哉
東京大学教授

東京裏返し
集英社新書（集英社）
none

都市計画の思想と場所
中島直人/東京大学出版会
none

これからの都市のあり様を探求する雑誌「MEZZANINE」編集長吹田良平企画。「作戦:書店を止めるな」を合言葉に集まった35人が期間限定の本棚を作ります選書は1人につき2冊。自著から1冊、「これからの都市や社会を考える」きっかけになる本というテーマで1冊。選書に対するコメントもいただきました。

こちらのフリーペーパーはフェアの内容をまとめたものです。
映画のパンフレットのように、実際に見る前に予告として、見た後に補足として、そして余韻を味わうお土産として、どうぞお楽しみください。

1. 跡部徹
株式会社空気読み代表、ana-logue編集長
手書き地図推進委員会

地元を再発見する！手書き地図のつくり方
手書き地図推進委員会(川村行治、赤津直紀、
跡部徹、大内征) /学芸出版社
手書き地図を作る目的で街を歩くと、都市の文脈が
見えてくる。コロナ禍で「近所の再発見」をした方
にも。台湾版も出版準備中。

月イチ台北どローカル日記
森井ユカ/集英社
自宅は東京のままで、事務所を台北に引越した
著者の体験記。通勤の固定概念を変えたら都市選択
はもっと自由になる!?

2. 飯田泰之
明治大学政治経済学部准教授

これからの地域再生/晶文社
再開発や工場誘致に代表されるハード強化から土地の
雰囲気や街の楽しさといったソフトの充実が重視
される現在。商店街からナイトタイムエコノミーまで…
これからの地域再生策を考えてみよう！

ジェイン・ジェイコブズの世界 1916-2006
〔別冊『環』22〕/藤原書店
都市の魅力を高めるソフト面の強化……というのは
簡単だが、具体的な方法となると難しい。
ジェイコブス の思考を多方面から紹介する本書には
そのひとつのヒントがある。

3. 井庭崇
慶應義塾大学総合政策学部

パターン・ランゲージ：
創造的な未来をつくるための言語
井庭崇（編著）中埜博、江渡浩一郎、中西泰人
竹中平蔵、羽生田栄一/慶應義塾大学出版会
建築から人間活動のデザインへと応用された
パターン・ランゲージ。都市と社会を再構築
していくための発想の糧としてどうぞ。

時を超えた建設の道
クリストファー・アレグザンダー/鹿島出版会
人間的な都市や場のあり方について根本的に
探究した本です。2020年の今こそ改めて読み、
深く考えてみたい一冊です。

4. 江口晋太朗
TOKYObeta代表、編集者、プロデューサー

実践から学ぶ地方創生と地域金融
山口省蔵、江口晋太朗/学芸出版社
従来の金融機関のあり方を払拭する、企業と行政と
金融による連携モデルこそ、地域の持続可能な
経済循環をつくり出す基盤となる。

寛容について/みすず書房
「寛容」とは「たがいに異なる歴史・文化
・アイデンティティをもつ人びとの集団の平和共存」
であることに今こそ向き合う時代だ。

5. 片山さつき
自由民主党総務会長代理、参議院議員、
前国務大臣(規制改革・地方創生・女性活躍)

スーパーシティ
片山さつき/事業構想大学院大学出版部
高齢化、人口減少、新型コロナ… 都市の課題を
「まるごと」解決する持続可能なまちづくりの
切り札が「スーパーシティ」です。

富山型コンパクトシティの構想と実践
重藤さわ子/事業構想大学院大学出版部
none

6. 菊地マリエ
公共R不動産コーディネーター

公共R不動産のプロジェクトスタディ
公共R不動産（共著）/学芸出版社
日本に溢れる遊休公共空間をいかにおもしろく
使い直せるか。そのポテンシャルに気づき、
実行の一歩を踏み出すための事例集です。

未来をつくる図書館/岩波書店
NY図書館の意思ある運営と市民生活の質の密な
関係性から、本来、都市経営の中で公共施設が
果たし得る役割の大きさを学べる本。

7. こばやしあやな
サウナ文化研究家

公衆サウナの国フィンランド
こばやしあやな/学芸出版社
公衆浴場でも社会でも、誰もが「他者への信頼と
寛容さ」さえ持てたら、今よりもっと平穏で
創造性豊かに共生できると気づける本。

「待つ」ということ
鷲田清一/角川学芸出版
答えを待つ苦しさに囚われず、待たずに待つこと。
今年ふいに読み返して、先が見通せない社会でも
萎えずに生きてゆける気がした。

8. 小林重敬
一般財団法人森記念財団理事長
横浜国立大学名誉教授、全国エリアマネジメント
ネットワーク会長、工学博士

まちの価値を高めるエリアマネジメント
小林重敬、森記念財団（編著）/学芸出版社
まちを「つくる」ことから、まちを「育てる」
というエリアマネジメントが新しい潮流である。
それを体系的な紹介するはじめての書である。

資本主義の新しい形/諸富徹/岩波書店
日本企業の競争力の低下、経済格差の拡大、温暖化対
策の停滞を体系的に示し、その対処として資本主義の
「非物質化」の方向性を示す。